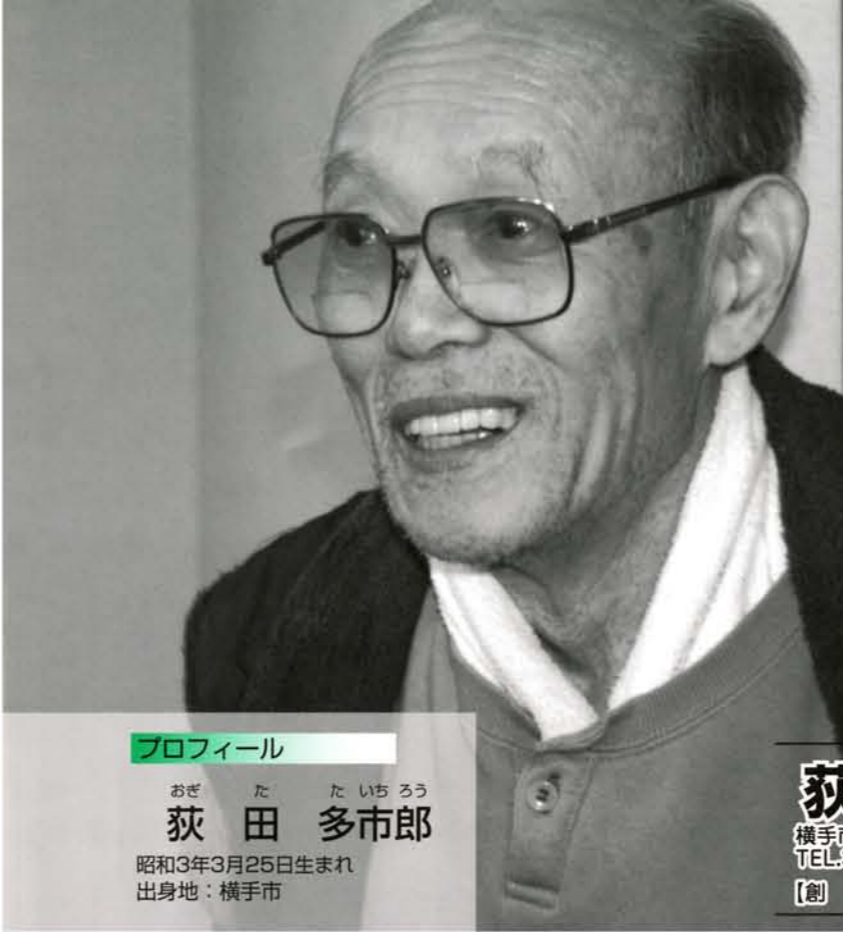


店品 技人

ファイル31 取材日 H21.5.13



荻田看板店
横手市横手町字上真山8-2
TEL:32-3010
【創 業】明治45年



プロフィール
おざ た たいちろう
荻 田 多市郎
昭和3年3月25日生まれ
出身地：横手市

今回は、全国でも数少ない碁盤作りをされている荻田看板店さんにお邪魔しました。碁盤を作る職人さんが横手にいることを、スタッフは今回の取材で初めて知りました。

事業所の前に立って、まず目に飛び込んできたのは、重みのある看板でした。

ごめんください。社長さんは奥で仕事をされていて、聞いてくれないようです。もう一度！

ごめんください。はい！お忙しいところすみません！よろしくお願ひします。

奥に通されて、又びっくり！たぐさんの完成された碁盤や、まだ作成途中の碁盤が所狭しと並べられておりました。

碁盤の話は又後で聞くことにして…。創業はいつ頃でしょうか。親父の時からで、明治四十五年です。以前は内町に住んでいたんですが、昭和四十年に現在の場所に移転しました。

では社長さんは二代目ということですね。はい、私は夜中にやります。え、息をするのにも気を使いますね。この碁盤はとも艶がありますけれど、表面に塗料を塗ってあるんですか。いいえ、自然に艶が出てくるんですよ。これが「かやの木」の特徴です。こちらの碁盤は匂いもありますよ。嗅いでみてください。一同碁盤に鼻を近づけ嗅いでみたところ、すごく良い匂いがしました。この匂いをお届けできないのがとても残念！



▲木でできているとは思えない程の滑らかな、ひげ文字

まだまだ長生きして、元気ががんばらないといけないですね。そうですね。どこかで販売されていますか。看板や、碁盤を作った残りの材料で作りましたので、欲しいから譲って欲しいといわれ販売しています。ありがたいことに田沢湖方面や角館にあるお店からも注文があり、置かせてもらっています。

フクロウは好きで集めている人がたくさんいますからね。一つ一つ表情が違いますね。そうですね。一つ一つ彫り刀で彫っていますので、同じ物ではないんですよ。



▲愛くるしい目をしたフクロウたち

でも、それがそのフクロウの個性でしょうからね。お客様の好みもそれぞれだろうし…。毎日お忙しい社長さんですけど、お休みの日は何をされているんですか。定休日というものは特にないけれど、週三日は防犯協会や

きいきサロン等のボランティア活動をしていますよ。ボランティア活動もされているんですよ。休んでいる暇がないですね。こんな張り合いのある毎日を送られているから活き活きされているんですね。

私の仕事は、好きなことをしているんなら喜んでもらえる仕事なので、とても幸せなことだと思っています。

そうですね。でも誰にでも出来る仕事ではないですから、これからは元気でがんばってくださいね。今日はありがとうございました。



工程② 磨き (足はクチナシの実を型取っている)

まずは、この大きなのこぎりで丸太を切る作業から…

工程③ 目盛割して、完成!

工程④ 製材

これは「かやの木」です。「かやの木」でないと良い碁盤は作れないんですよ。でもなかなか手に入らないんです。しかも一本の木からはそんなに何個もできないし…。全部手作業ですか。出来上がるまでは、相当な時間が掛かるんじゃないですか。そうですね。まず生木を十年以上寝かせておいて、ちよんご

いい具合に乾燥させます。その後、丸太を切って製材して磨きを掛けてからは一週間位で完成しますよ。碁盤の目も手で書かれているんですか。目盛りをします。やり方は企業秘密ですが、漆で盛ります。漆は固まりやすいので一気に作業をしなければいけないんですよ。温度や湿度も関係してくる